研究者総覧：尾関 修治（OZEKI, Shuji）

氏名	尾関 修治（OZEKI, Shuji）	
職名	教授	
所属講座	英語高度専門職業人コース	
学位（専攻分野）	修士（文学）・名古屋大学	
メールアドレス	ozeki@nagoya-u.jp	
個人のホームページ	http://class.lang.nagoya-u.ac.jp/~ozeki/	
研究分野	英語教育	
	CALL（コンピュータ支援による言語教育）	
	e ラーニング	
現在の研究テーマ	LMS を利用した英語 e ラーニングの開発	
所属学会	外国語教育メディア学会	
	大学英語教育学会	
主要著書・論文	「クラウド時代の英語教育を求めて」英語教育. 大修館書店. 2011.	
	「大学でのメディア活用法」英語教育. 大修館書店. 2009.	
	「英語授業での LMS の利用手法とその効果」中部大学教育研究. 2008.	
	「英語教師のマルチメディア教材活用法」英語教育. 大修館書店. 2006	
	インターネット時代の英語教育（訳書）. ピアソン・エデュケーション. 2001.	
自己紹介文	1959 年、名古屋生まれ。名古屋大学文学部卒業、名古屋大学大学院文学研究科修了という名古屋育ち。東海学園女子短期大学、福井大学教育学部、中部大学を経て 2009 年より現職。大学２年生で初めてコンピュータに接し、プログラミングに魅了される。４年生で大学院生との共同研究のデータ処理（方言地図の作成）に大型計算機を使う。以来、研究領域は英語教育であるものの、教材開発、事務処理、趣味とコンピュータに関わり続ける。初代の Macintosh 以来、主に Mac を使い続けているが、サーバー管理の必要上 Unix や Linux、また人付	マレーシア工科大学の CALL 教室。アジア諸国でも語学教育へのコンピュータ利用は盛ん

<table>
<tr><td></td><td>き合いの必要から Windows も使う。PC の自作や修理からプログラミング、ネットワークの敷設作業、サーバーの設定や管理まで、必要に迫られ、また興味の赴くままに守備範囲を広げてきた。それ以外の趣味では、洗車と読書。読書は乱読。小説を読み出すとその作家の全作品を読み尽くすかすっかり嫌いになるまでは止まらない。料理も好きで、和洋中スイーツと、和菓子以外は大体作る。</td></tr>
<tr><td>受験生へのメッセージ</td><td>今やコンピュータやネットワークは単なる研究用のツールだけでなく学習のツールであり、コミュニケーションの手段。地理的な距離や国家間の壁を乗り越えて人々が直接交流することを実現しています。その上で言語や文化の相互理解がますます重要になっています。

「e ラーニング演習」のページ
英語教育はコンピュータやネットワークのそのような特性に早くから着目し利用が進んだ領域です。尾関研究室ではネットワークを利用したコミュニケーションによる外国語学習や、e ラーニング教材作成の基礎、学習管理サーバーの運用まで幅広く学べます。現職の英語教員、英語教育の現場や関連の職種を目指す学生、教育での ICT 活用について基礎から学びたい方、あるいは特定の目的の e ラーニング教材の開発と検証を行ないたい方などの研究の場です。また、英語に限らず日本語教育等の言語教育での活用のために受講する例もあります。コミュニケーションの新時代にふさわしい新しい着想の研究を始めて下さい。</td></tr>
</table>